

日本の五輪テニス史

日本のテニスは、なぜか歴史の最初に燦然と輝く成績を刻んでいる。デ杯は1921年の初参加でチャレンジラウンド（現在のワールドグループ決勝）へ進んだ。五輪も同様。そして96年後に素晴らしい復活劇が待ち受けていた。

文・小沢 剛
(共同通信社)

▽戦前

1896年の第1回アテネ大会から採用されていたテニスに日本選手が初めて登場したのは、日本が五輪に参加して2回目の1920年アントワープ大会だった。日本の参加競技はテニス以外に陸上、水泳だけで、テニスの代表は米国在住の熊谷一彌、柏尾誠一郎の2人だった。

14カ国、41選手中、熊谷は最強と目されていた。全米選手権（現全米オープン）ベスト4の実績を持ち、当時の世界トップ、ジョンストン、チルデン（ともに米国）に土を付けていた。欧米の有力選手は不在だった。

8月15日に開会式を終え、その日のうちに試合開始。現在のスケジュールとは随分違う。熊谷、柏尾ともにストレート勝ちで滑り出した。柏尾は2戦目に南アフリカの選手に敗れた。熊谷は準々決勝で、その南ア選手のチョップショットに悩まされながらも退け、準決勝も突破し、メダルを確定させた。

当時の日本は陸上、水泳ともに世界レベルになかった。必然的に国を背負った熊谷は、金メダルを取らねばならない責任感が強かった。決勝当日は気持ちの高ぶりのまま午前3時ごろまで寝付けず、7時半に起きたと自著に記している。天気は雨。めがねが曇る。軟式テニス仕込みのトップスピンの強打が、雨でゆるんだコートで弾まない。相手のレイモンド（南ア）に拾われ、逆にスタミナを削った。7-5、4-6、5-7、4-6と競り合いを失い、銀メダルとなった。

翌日のダブルス決勝は英国のターンブル、ウーズナム組に2-6、7-5、5-7、5-7で惜敗した。

初出場で銀メダル2個獲得。これは日本の五輪史上初めてのメダルである。しかし熊谷は自責の念を自著につづった。「重い責任を果たし得ず、同胞の期待を裏切った苦汁と後悔の念は、二重にも三重にも私の心を責めさいなみ」と。

第7回オリンピック(1920年アントワープ)

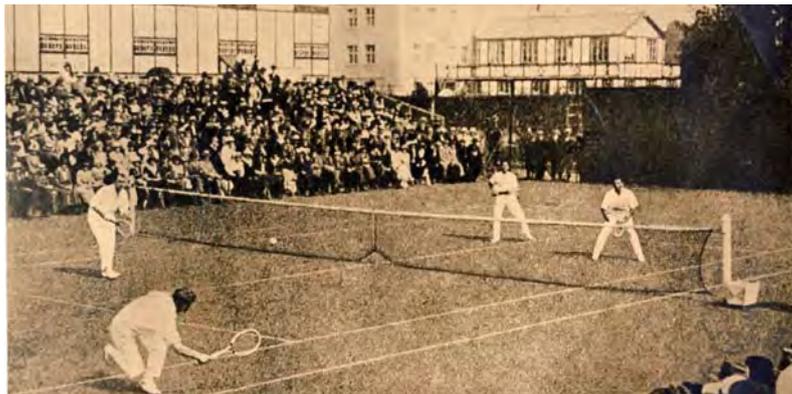
シングルス			
1回戦	熊谷一彌	7-5,6-3,6-2	Alonso-Areyzaga (ESP)
	柏尾誠一郎	BYE	
2回戦	柏尾誠一郎	6-3,6-1,6-2	E.Tegner (DEN)
	熊谷一彌	6-0,6-1,6-0	V.D.Laveleye (BEL)
3回戦	熊谷一彌	7-5,6-1,6-4	A.Lammens (BEL)
	柏尾誠一郎	3-6,6-4,2-6,6-3,1-6	G.Dodd (RSA)
Q F	熊谷一彌	7-5,6-1,6-1	G.Dodd (RSA)
S F	熊谷一彌	6-2,6-2,6-2	C.Winslow (RSA)
F	熊谷一彌	7-5,4-6,5-7,4-6	L.Raymond (RSA)
ダブルス			
2回戦	熊谷一彌 柏尾誠一郎	6-1,6-4,6-4	J.Washer (BEL) A.Lammens
3回戦	熊谷一彌 柏尾誠一郎	6-3,6-2,4-6,6-1	B.Norton (RSA) L.Raymond
S F	熊谷一彌 柏尾誠一郎	6-4,4-6,6-3,6-1	J-F.Blanchy (FRA) J.Brugnon
F	熊谷一彌 柏尾誠一郎	2-6,7-5,5-7,7-5-7	N.Turnbull (GBR) M.Woosnam

太字は勝者



▲1920年アントワープ大会入場行進

▼熊谷・柏尾組は決勝で英国に惜敗し銀メダルとなった



▲銀メダル
(レプリカ)

▶熊谷の銀メダル
秩父宮記念スポーツ博物館収蔵



24年パリ大会 デ杯、四大大会優先の国際庭球連盟（現ITF）はパリを最後に五輪と決別した。この年のウィンブルドン選手権ダブルス優勝のリチャーズ（米国）が単複2冠に輝いた。シングルスは準々決勝でラコスト、決勝でコシェと後のフランス四銃士を撃破。女子も18歳のウイルス（米国）が単複制した。27年からウィンブルドンに8度制する名手の欧州デビューだった。

デ杯遠征を兼ねた日本勢は、原田武一が4回戦でギルバート（英国）に10-8、2-6、11-9、6-2と競り勝ってベスト8に進んだが、準々決勝で姿を消した。福田雅之助は4回戦でコシェに敗れ、8強進出を逃した。

▼デ杯戦に出場の原田、清水、福田 写真提供：秩父宮記念スポーツ博物館



▲▶ 1924年パリ大会絵葉書



▼リチャーズ選手の強さを報じる当時の記事

(上下3点原田武一寄贈アルバムから)



第8回オリンピック（1924年パリ）

シングルス

1回戦	本田 朝次	3-6,3-6,5-7	J.Borotra (FRA)
※ 福田、原田、岡本は1回戦不戦勝			
2回戦	福田 雅之助	6-2,6-4,6-3	P.Wheatley (GBR)
	原田 武一	6-3,3-6,6-2,6-2	L.Zemla (TCH)
	岡本 忠	6-4,5-7,8-10,6-4,4-6	J.Kozeluh (TCH)
3回戦	福田 雅之助	8-6,6-4,5-7,6-4	H.Timmer (NED)
	原田 武一	WO	M.Cousin (FRA)
4回戦	福田 雅之助	2-6,1-6,3-6	H.Cochet (FRA)
	原田 武一	10-8,2-6,11-9,6-2	B.Gilbert (GBR)
Q F	原田 武一	4-6,1-6,1-6	U.DE.Morpurgo (ITA)

ダブルス

1回戦	本田 朝次 福田 雅之助	6-4,1-6,6-3,1-6,6-2	C.Lennep (NED) H.Timmer
	原田 武一 岡本 忠	6-0,6-0,6-1	B.Thalbitzer (DEN) E.Bache (AUS)
2回戦	本田 朝次 福田 雅之助	2-6,3-6,3-6	E.Flaquer (ESP) R.Sapriisa
	原田 武一 岡本 忠	4-6,6-4,4-6,4-6	J.Alonso-Areyzaga (ESP) M.Alonso-Areyzaga

第19回オリンピック（1968年メキシコ）(注)公開競技

男子シングルス Demonstration Event

1回戦	神和住 純	4-6,6-2,6-4,2-2 Ret	I.Buding (FRG)
	坂井 利郎	3-6,8-10,0-6	M.Orantes (ESP)

男子ダブルス Demonstration Event

1回戦	神和住 純 坂井 利郎	1-6,2-6,3-6	M.Orantes (ESP) N.Pietrangeli
-----	----------------	-------------	----------------------------------

※ 日本女子選手の参加はありません。

男子シングルス Exhibition Event

1回戦	神和住 純	BYE	
	坂井 利郎	BYE	
2回戦	神和住 純	6-3,6-3	J.Mcmanus (USA)
	坂井 利郎	3-6,6-8	V.Zarazua (MEX)
3回戦	神和住 純	0-6,2-6	I.Buding (FRG)

男子ダブルス Exhibition Event

1回戦	神和住 純 坂井 利郎	6-3,4-6,0-6	V.Korotkov (URS) A.Volkov
-----	----------------	-------------	------------------------------

第23回オリンピック（1984年ロサンゼルス）(注)公開競技

女子シングルス

1回戦	井上 悦子	3-6,5-7	S.Graf (FRG)
	雉子牟田 明子	3-6,2-6	S.Cecchini (ITA)

※ 大会は男女シングルスのみ実施。日本男子選手の参加はありません。

第24回オリンピック（1988年ソウル）

男子シングルス

1回戦	土橋 登志久	6-7,2-6,4-6	A.MORENO (MEX)
	松岡 修造	3-6,4-6,3-6	E.SANCHEZ (ESP)

男子ダブルス

1回戦	土橋 登志久 松岡 修造	6-4,4-6,2-6,2-6	L.MATTAR (BRA) R.ACIOLY
-----	-----------------	-----------------	----------------------------

女子シングルス

1回戦	井上 悦子	3-6,5-7	KIM.ILSOON (KOR)
	岡本 久美子	3-6,2-6	C.LINDQIST (SWE)

女子ダブルス

1回戦	井上 悦子 岡本 久美子	6-3,6-7,8-6	CHECCHINE (ITA) R.Reggi
Q F	井上 悦子 岡本 久美子	3-6,2-6	H.SOKOVA (TCH) T.NOVOVNA

▽デモンストレーション

68年メキシコ大会 公開競技として一時的に行われた。

84年ロサンゼルス大会 再び公開競技だったが、88年ソウル五輪での復帰含み。年齢制限の下、プロも参加、実質オープン化だった。出場最年少の15歳グラフ(西ドイツ)が女子シングルスに優勝。1回戦で対戦した井上悦子は第2セットでセットポイントまで持って行ったが振り切られた。雉子牟田明子は初戦で敗退した。



▲最年少優勝を飾ったシュテフィ・グラフ

▽正式復帰

88年ソウル大会 64年ぶりに復帰したテニスは完全オープンとなった。女子で年間グランドスラムを達成したグラフが、全米オープン直後にもかかわらず、決勝でサバチーニ(アルゼンチン)を6-3、6-3で退け、史上ただ一人の5冠を成し遂げた。この偉業は「ゴールデンスラム(グランドスラム+金メダル)」とたたえられた。



▲松岡修造は3大会連続出場

男女4人が参加した日本は女子ダブルスの井上悦子・岡本久美子組だけが初戦を突破した。

92年バルセロナ大会 女子の伊達公子、遠藤愛が1回戦を突破した。しかし、2回戦で伊達はマレーバ3姉妹の末のマグダレナ(ブルガリア)に敗れ、遠藤も地元スペインの期待を担うサンチェスにストレートで敗れた。沢松奈生子はドイツの世界トップ10、フォーバーに初戦で敗れた。



▲伊達がグラフを破る快挙!!

96年アトランタ大会 伊達公子が健闘した。この年、フェドカップでグラフを破り、ウィンブルドンでもグラフと2日掛かりの準決勝を戦ったばかり。3回戦で前回敗れたマレーバに雪辱してベスト8に進んだ。しかし準々決勝はサンチェスに最終セットを7-6、8-7とリードしながらあと1ゲームが奪えず、結局ファイナル8-10で惜敗した。



▲沢松奈生子

杉山愛は2回戦でヒンギス(スイス)を破ってベスト16入りしたが、3回戦でノボトナ(チェコ)に屈した。沢松奈生子も2回戦でダベンポート(米国)に敗れた。最終的にダベンポート、サンチェス、ノボトナが金、銀、銅のメダルを獲得したことを考えると、日本女子の健闘とドロ運のなさが浮かぶ。



▲杉山 愛

2000年シドニー大会 第14シードが付いた杉山愛と浅越しのぶの女子シングルス、岩淵聡とトーマス嶋田の男子ダブルスとも初戦で姿を消した。

04年アテネ大会 女子だけの参加。杉山愛、浅越しのぶのダブルスが表彰台まであと一步と迫った。2人はヤマ場の準々決勝でナブラチロワ・レイモンドの米国ペアに杉山のネットプレーなどで6-4、4-6、6-4で破った。しかし準決勝のスペイン・ペアにはぐらかされ、3位決定戦もアルゼンチンのペアに敗れてメダルを目前で逃した。



▲浅越しのぶ

第25回オリンピック(1992年バルセロナ)

男子シングルス			
1回戦	松岡修造	4-6,3-6,6-3,4-6	Renzo Ferlan (ITA)
女子シングルス			
1回戦	遠藤愛	7-6,7-6	E.Pampolova-Wagner (BUL)
	沢松奈生子	0-6,6-4,2-6	A.Huber (GER)
	伊達公子	7-5,6-1	R.Simpson (CAN)
2回戦	伊達公子	2-6,4-6	M.Maleeva (BUL)
	遠藤愛	0-6,1-6	A.Sanchez (ESP)
女子ダブルス			
1回戦	伊達公子 木戸真也	5-2,RET.	Il-Soon Kim (KOR) Jeong-.M.Lee
2回戦	伊達公子 木戸真也	3-6,6-7	J.Novotna (TCH) A.Strnadova

第26回オリンピック(1996年アトランタ)

男子シングルス			
1回戦	松岡修造	6-7,3-6	T.Henman(GBR)
男子ダブルス			
1回戦	岩淵聡 岩淵貴男	4-6,7-6,8-6	Carlos Bianchi(Venezuela) Nicolas Pereira
2回戦	岩淵聡 岩淵貴男	7-6,2-6,5-7	Sergi Bruguera(ESP) Tomas Carbonell
女子シングルス			
1回戦	沢松奈生子	6-3,4-6,6-3	Park.S (KOR)
	杉山愛	6-2,6-3	Studenikova(SVK)
	伊達公子	6-0,6-1	Randriantety (MAD)
2回戦	沢松奈生子	2-6,2-6	Davenport (USA)
	杉山愛	6-4,6-4	M.Hingis(SUI)
	伊達公子	6-2,6-3	V.Csurgó (HUN)
3回戦	杉山愛	3-6,4-6	Novotna (CZE)
	伊達公子	6-4,6-4	M.Maleeva (BUL)
Q F	伊達公子	6-4,3-6,8-10	Sanchez-Vicario (ESP)
女子ダブルス			
1回戦	杉山愛 長塚京子	6-7,1-6	Hetherington (CAN) P.HY-Boulais

第27回オリンピック(2000年シドニー)

男子ダブルス			
1回戦	岩淵聡 嶋田重太郎トーマス	4-6,3-6	HRBATY (SLO) KUCERA
女子シングルス			
1回戦	浅越しのぶ	0-6,4-6	CALLENS Ellis (BEL)
	杉山愛	0-6,6-7	DOKIC Jelena (AUS)
女子ダブルス			
1回戦	山城愛 宮城ナナ	6-2,5-7,6-4	BASKI (INA) PRAKUSYA
2回戦	山城愛 宮城ナナ	6-2,6-7,2-6	Sangaram (THA) Tanasugarn

第28回オリンピック(2004年アテネ)

女子シングルス			
1回戦	杉山愛	4-6,6-3,8-6	J.Zheng (CHN)
	浅越しのぶ	3-6,6-7	Schiavone (ITA)
	小畑沙織	6-7,5-7	Malevzic (SLO)
	森上亜希子	6-1,6-4	Benesova (CZE)
2回戦	杉山愛	7-5,6-4	Perebiynis (UKR)
	森上亜希子	6-7,2-6	Kuznetsova (RUS)
3回戦	杉山愛	7-6,6-1	Sprem (CRO)
Q F	杉山愛	3-6,4-6	Molik (AUS)
女子ダブルス			
1回戦	森上亜希子 小畑沙織	3-6,7-5,6-3	Czink (HUN) Kapros
	浅越しのぶ 杉山愛	5-7,7-5,6-3	Dementieva (RUS) Myskina
2回戦	森上亜希子 小畑沙織	4-6,2-6	Suarez (ARG) Tarabini
	浅越しのぶ 杉山愛	6-3,7-5	Kostanic (CRO) Sprem
Q F	浅越しのぶ 杉山愛	6-4,4-6,6-4	Navratilova (USA) Raymond
S F	浅越しのぶ 杉山愛	3-6,0-6	Martinez (ESP) Ruano Pask2
3位決定戦	浅越しのぶ 杉山愛	3-6,3-6	Suarez (ARG) Tarabini

シングルスは杉山がベスト8。96年の伊達に続く入賞を果たした。

08年北京大会 18歳、錦織圭が五輪デビューした。初戦でウィンブルドン4強のシュットラー（ドイツ）と打ち合いを演じ、第2セット0-5から巻き返したが、結局4-6、7-6、3-6で敗れた。



男子シングルスはナダル（スペイン）が制し、ダブルスはフェデラー、パブリンカのスイス・ペアがものにした。フェデラーがダブルスの金メダルに涙するのを見た故川延栄一氏は、ITFで五輪を長く担当してきただけに「五輪がトップ選手によく認識された」と感慨深く語っていた。

12年ロンドン大会 ウィンブルドンが舞台。第15シードの錦織圭が男子シングルスで日本選手88年ぶりの白星を手に入れた。初戦でトミック（オーストラリア）に競り勝ち、2回戦もダビデンコ（ロシア）、3回戦も粘り強いフェレール（スペイン）をともにフルセットで破り、88年ぶりのベスト8。準々決勝ではデルポトロ（アルゼンチン）に及ばなかった。

▽96年ぶりのメダル

16年リオデジャネイロ大会 錦織がついにメダルを獲得した。日本選手、96年ぶりの快挙である。

男子シングルスはフェデラーが故障で欠場し、錦織は第4シードで臨んだ。3回戦まですべてストレート勝ちした錦織の危機は準々決勝の第6シード、モンフィス（フランス）戦だった。最終セットのタイブレークは0-4。ここは脱したが、3-6とマッチポイントに。モンフィスの表情がわずかに緩んだ。続く錦織のサーブで2ポイント取られても、絶好調のサーブで次を押さえる。そんな計算が浮かんだように見えた。一方、後のない錦織は攻めに転じた。5-6となり、モンフィスはサーブで決めなければならなくなる。そして失敗した。ダブルフォルトで崩れ、錦織が5ポイント連取して2時間53分の大逆転劇を演じた。錦織は「モンフィスは集中力が途切れる瞬間が来る」と見ていたが、一番大事な瞬間に訪れたのか。そこを逃さなかった錦織が見事だった。

準決勝のA・マリー（英国）には完敗。とはいえ、1時間20分しかかからなかったことが逆に次に生きたから皮肉だ。メダルがかかる3位決定戦の相手は第3シードのナダル。ナダルは準決勝で3時間8分も戦っていた。ダブルスも決勝まで戦った。結果的にスタミナの差は大きい。

錦織は第2セット5-2から突然ミスが続いた。メダルが目前になり逆に緊張が強まった。ナダルは見逃さない。セットオールに持ち込まれた。だが最終セットではナダルの脚が効かなくなっていった。錦織が6-2、6-7、6-3で破り、日本テニス界悲願のメダルを手に入れた。

日本勢はダニエル太郎がベスト16の3回戦まで進み、杉田祐一、土居美咲、日比野菜緒も初戦を突破と充実していた。

世界ナンバーワンのジョコビッチ（セルビア）は1回戦でデルポトロに6-7、6-7で敗れ、涙を浮かべた。元全米王者のデルポトロは3回戦でダニエル太郎を下すなどして決勝に進んだが、A・マリーが7-5、4-6、6-2、7-5で退け、ロンドン大会に続く五輪2連覇を達成した。

第29回オリンピック(2008年北京)

男子シングルス				
1回戦	錦織 圭		4-6,7-6,3-6	R.Schuetzler (GER)
女子シングルス				
1回戦	杉山 愛		2-6,5-7	Hantuchova (SVK)
	森田 あゆみ		5-7,7-6,6-4	Erakovic (NZL)
2回戦	森田 あゆみ		2-6,5-7	Li.Na (CHN)
女子ダブルス				
1回戦	杉山 愛	森田 あゆみ	6-3,6-3	Arn Greta (HUN) Svavay
2回戦	杉山 愛	森田 あゆみ	5-7,2-6	Williams.S (USA) Williams.V

第30回オリンピック(2012年ロンドン)

男子シングルス				
1回戦	錦織 圭		7-6,7-6	Tomic Barnerd (AUS)
	伊藤 竜馬		3-6,4-6	Raonic (CAN)
	添田 豪		7-6,6-7, 2-6	BAGHDATIS (Cyprus)
2回戦	錦織 圭		4-6,6-4,6-1	DAVYDENKO (RUS)
3回戦	錦織 圭		6-0,3-6,6-4	Ferrer David (ESP)
Q.F	錦織 圭		4-6,6-7	Del.Potro (ARG)
男子ダブルス				
1回戦	錦織 圭	添田 豪	7-6,4-6,4-6	Federer.R (SUI) Wawrinka.S

※ 日本女子選手の参加はありません。

第31回オリンピック(2016年リオデジャネイロ)

男子シングルス				
1回戦	錦織 圭		6-2,6-4	Albert Ramos (ESP)
	ダニエル・太郎		6-4,6-4	Jack Sock (USA)
	杉田 祐一		5-7,7-5,6-4	Brian Baker (USA)
2回戦	錦織 圭		7-6,6-4	John Millman (AUS)
	ダニエル・太郎		6-4,7-5	Kyle Edmund (GBR)
	杉田 祐一		6-7,2-6	Gilles Simon (FRA)
3回戦	錦織 圭		6-2,6-2	Andrey Martin (SVK)
	ダニエル・太郎		7-6,1-6,2-6	Del Potro (ARG)
Q. F	錦織 圭		7-6,4-6,7-6	Gael Monfils (FRA)
S. F	錦織 圭		1-6,4-6	Andy Murray (GBR)
3位決定戦	錦織 圭		6-2,6-7,6-3	Rafael Nadal (ESP)
女子シングルス				
1回戦	日比野 菜緒		6-4,3-6,6-3	Begu Irina-Camelia (ROU)
	土居 美咲		6-3,6-4	Shvedova Yaroslava (KAZ)
2回戦	日比野 菜緒		1-6,1-6	Muguruza.G (ESP)
	土居 美咲		3-6,4-6	Stousur Samantha (AUS)
女子ダブルス				
1回戦	土居 美咲	日比野 菜緒	6-0, 0-6,6-4	Garcia Caroline (FRA) Mladenovic Kristina
2回戦	土居 美咲	日比野 菜緒	4-6,6-1,1-6	Kasatkina.D (RUS) Kuznetsova.S

▶2016リオから2020東京へ小池都知事

